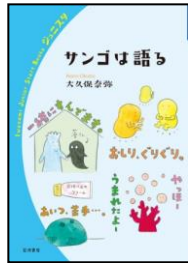


『サンゴは語る』

大久保 奈弥／著 岩波書店（2021 年）

みなさんはサンゴにどんなイメージを持っていますか。美しい色や、きれいな海を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。この本には、サンゴのことが詳しく書かれていて、棲んでいるところやたくさんの仲間たちなどを知ることができます。また、サンゴたちが直面している危ない状況や、その状況を良くするための取り組みについても載っています。かわいいイラストつきで解説されていて、とても読みやすくわかりやすい1冊です。サンゴがみなさんのイメージ通りの生き物なのか、ぜひ確かめてみてください。



『願わくば海の底で』

額賀 濤／著 東京創元社（2025 年）

東北地方、海沿いの街。高校美術部の菅原晋也^{すがわらしんや}の周辺で起こる出来事はささやかだが、晋也や同級生、美術部員たちそれぞれの個性や想いが秘められていた。

学校が荒らされた夜に校舎を漂っていた火の玉の真相、晋也をプールに突き落とした女子生徒が抱える悩み。高校3年間と大学入学までの、晋也が歩んだ日々をたどる物語。普段通りの日常だったはずの2011年のあの日、晋也に何があったのか。海が飲み込んでしまった真実にたどりついたとき、あなたは衝撃を受け止められるだろうか。



『新世界 海賊の作法』

山田 吉彦／監修 G.B.（2021 年）

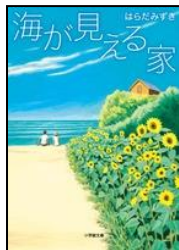
海賊とは“船を襲撃^{しゅうげき}して暴行^{ぼうこう}や略奪^{りやくだつ}を生業とし、航海の安全を脅^{おびや}かす行為^{こうい}をする者のこと”ほとんどの辞書でそう記されます。皆さんがイメージする海賊像はどうでしょうか？映画や漫画では勇猛果敢^{ゆうもうかかん}に描かれる海賊ですが、厳しい掟^{きび}を守り、ほとんどの時間を船の補修作業^{おきて}に充て、港町では羽目^{ほしゅう}を外^あしていたようです。海賊と言っても多種多様で、悪者もいれば英雄もいます。この本は海賊の暮らしや仕事の作法、戦いや武器の作法がイラスト付きで分かりやすく書かれていて、海賊を楽しく知ることができます。



『海が見える家』

はらだ みずき／著 小学館（2017 年）

新社会人として働き始めたものの、一ヶ月で会社を辞めてしまった文哉^{ふみや}。この先どうしようかと思い悩んでいる時、長い間会っていなかった父が亡くなったという知らせが届きます。南房総の海が見える父の家に訪れた彼は、家の片付けをすることになり、父の知らなかった生活や想いを知っていきます。かつて、文哉が父に投げかけた問いに対する父の答えが、この家での暮らしにあったのです。自然豊かな海辺の暮らしを通して、少しずつ父の人生と自分の人生について考えはじめます。



『こどもが探せる』

川原や海辺のきれいな石の図鑑 改訂版』

柴山 元彦・井上 ミノル／著 創元社（2025 年）

“石”に興味を惹かれた経験はありませんか？石は、普段歩いている道や川原・海辺に落ちていきます。落ちている石の中には、宝石が隠れていることがあります。実は、宝石としても有名なガーネットやサファイアなどを見つけることができるのです。

この本では、私たちの身近で見つけられる石の紹介や、実際に石を採取する方法とオススメのスポットが紹介されています。

この本で石に魅力を感じたら、ぜひ石を探しに行ってみてください。



『ムーミンパパ 海へいく』

トーベ・ヤンソン／作・絵 小野寺 百合子／訳 講談社（2014 年）

8月のとある日。ムーミンパパは、かわいたしっぽをひきずりながら、しょんぼりと歩いていました。あつくてほこりっぽい夏のムーミン谷では、山火事がおこりやすいのです。何度もいってきかせましたが、家族たちは自分の世界に行ったきりで、きいてくれません。ヨットに乗って海に出て、遠くへ行けたらと思うムーミンパパ。ボヤがおきても、家族たちはちょっとお水をかけただけ。心配したムーミンパパは、ボヤがおきたコケをひと晩中みはることにしました。



 他にもあるよ こんな本

- ・『海のなかの観覧車』
菅野 雪虫／著 講談社（2024 年）
- ・『深海散歩 極限世界のへんてこ生きもの』
藤倉 克則／監修 幻冬舎（2017 年）
- ・『海の底』
有川 浩／著 KADOKAWA（2009 年）
- ・『美しい、詳しい世界のクラゲ図鑑』
リサ＝アン・ガーシュウィン／著
的場 知之／訳 エクスナレッジ
（2025 年）
- ・『深海のスノードーム』
安田 依央／著 中央公論新社（2024 年）
- ・『世界の海へ、シャチを追え！』
水口 博也／著 岩波書店（2018 年）
- ・『海とジイ』
藤岡 陽子／著 小学館（2018）
- ・『深海ロボット、南極へ行く
極地探査に挑んだ工学者の 700 日』
後藤 慎平／著 本田 亮／イラスト
後藤 葉子／デザイン
太郎次郎社エディタス（2023 年）

面白い本は
見つかったかな？



とっぴー

次回も
お楽しみに！！

富田林市立図書館

2026年 7月 発行

YA通信

第82号

テーマ

海

